

# 文部科学省 平成 18 年度 拠点システム構築事業 「国際教育協カイニシアティブ」<sup>1</sup>

活動テーマ: 開発途上国における小中学校用「社会・経済の理解のための」教科書の作成と実証実験

## ベンチャーキッズ in タイランド 開催のご案内

2006 年 12 月

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 大江建研究室

「ベンチャーキッズ」は、子どもたちにチャレンジする精神、ビジネスへの意識、仲間と協力をすることなど、起業家としての素養を養成し、広く社会意識を向上させることを目指し、早稲田大学ビジネススクール(MBAコース)・大江建研究室で開発された初期起業家教育プログラムです。「ベンチャーキッズ in タイランド」は、このプログラムを、日泰の協力組織と共に、タイ版としてアレンジし、ワッタナー学園中等部の参加生徒を対象に実施するものです。

### タイにおけるプログラム開催概要

#### <関係組織>

事業実施組織: 早稲田大学アジア太平洋研究センター  
事業共同実施組織: 株式会社セルフウィング  
特定非営利活動法人アジア科学教育経済発展機構(Asia SEED)  
タマサート大学商学部 BBA プログラム  
ワッタナー学園中等部  
ラチャニコーン・センテイド・キャンドル(タイ王国一村一品事業者)  
協力: タイ王国商業省輸出振興局(DEP)

#### <開催日時・場所>

12 月 15 日	金	14:00-15:30	ワッタナー学園 (※1)にて参加中学生に対するオリエンテーション
12 月 16 日	土	08:30-15:00	一村一品フェア(※2)にて市場調査・ワッタナー学園にてビジネスプラン作成
12 月 18 日	月	08:30-17:00	ラチャニコーン・センテイド・キャンドル(ラチャブリー県)にて販売用キャンドル製作(※3)
12 月 23 日	土	10:00-12:00	一村一品フェアにてキャンドル販売
		14:00-16:30	ワッタナー学園にて会計報告、中学生による活動発表、表彰

#### ※1: Wattana School, Thailand (12 月 15 日、16 日、23 日講義会場)

Room 201, 130 years memorial building, 67 Sukhumvit 19, Bangkok 10110 Tel: 66-2254-7991 Fax: 66-2254-7997

#### ※2 OTOPI CITY INTERNATIONAL FAIR 2006 (12 月 16 日市場調査および 23 日販売場所)

Impact Muangthong Thani(IMPACT EXHIBITION CENTRE), Monthaburi, Impact 1-8, and Challenger Halls 1-3 99 POPULAR RD., BANMAI, PAKKRED, NONTHABURI 11120 THAILAND

TEL:66-2504-5050 FAX:66-2504-0385 (12 月 23 日の販売場所: ホール 1 ランドマーク近辺)

#### ※3: Ratchanikorn Scented Candle (12 月 18 日のキャンドル製作会場)

31 Moo 5, Chom Bung Sub-District, Chom Bung District, Ratchaburi 70150, Tel. 66-32 262010

#### <本件に関するタイ国内でのお問い合わせ先>

#### Asia SEED バンコク事務所 (担当: 福田)

TJTP-OECF 15<sup>th</sup> Floor, Witthyakit Building, 254 Chulalongkorn 64, Pathumwan, Bangkok 10330

Tel: +66-2-652-5471, Fax: +66-2-652-5470, 携帯: +66-81-901-0913 メール: fukuda@asiaseed.org

<sup>1</sup>本事業は、文部科学省が公募した平成 18 年度 拠点システム構築事業「国際教育協カイニシアティブ」に選定されています。国際教育協カイニシアティブとは大学、NGO、研究所など、我が国の教育関係者が有する教育上の知見・経験の整理・蓄積を行うとともに、教育協力モデルの作成等を行うことで、開発途上国における基礎教育開発を支援することを目的としています。合計 59 件の申請のうち 18 件が選定されています。

## **活動の背景と概要**

### **<本学の活動概要>**

教育機関で創り出される起業家教育教材や、学校現場と地域での実践例を収集し、開発途上国の次世代起業家養成に役立てるための小中学校用「実験的起業家教育」の教科書を作成することを念頭に、国内の起業家教育に係わる機関相互の情報の共有化と、国際教育協力において有益な実験的起業家モデルの構築を行います。

### **<本学の活動目標>**

開発途上国の小中学校の起業家教育の問題点を整理し、我が国の経験をいかに応用し活用していくかを専門家、援助関係者、現地小中学校の教師と詳細に協議検討を重ね、開発途上国における次世代起業家育成のため小中学校用「実験的起業家教育」の教科書を作成し、指導者が教科書を活用して次世代の起業家を養成する教育の現場で効果を発揮させることが、本活動の目標です。

### **<具体的な活動内容>**

#### **1) 起業家教育実践例の分析とモデルの作成**

本学大学院アジア太平洋研究科では、産業界、大学、学生の3者の連携による起業家教育を展開しています。そこで用いられる実験的かつ実務的なプロジェクトベースラーニングの手法は、墨田区の零細製造業の活性化プログラムとして試行され、その有効性が証明されているほか、1996年に開始した「早稲田ベンチャーキッズプログラム」として現在までに5,000人以上の小中学生に受講されてきました。このノウハウは、小学校や中学校・高校・大学・大学院、さらに地方商工会議所や地方自治体などにキャリア教育の一環としても採用されています。こうして蓄積された小中学校における次世代の起業家育成のための教育に関する知識、技術、組織的な活動についての情報を整理し、起業家教育関係者及び援助関係者と情報の共有をした上で、開発途上国に対する支援・協力モデルを開発し、提案します。

#### **2) 地域の特性を考慮した起業家教育の実践**

2003年より、経済産業省等の事業の一環として、Asia SEEDと共同でタイ、カンボジア、ラオスなどの開発途上国で地域開発のための起業家教育に取り組んできました。その取り組みは各国で、受講者である学生、実施大学、コンサルティングの対象となる中小企業、地域コミュニティそれぞれにメリットがあることが実証されつつあります。

教材には、仮説、事業計画、決算、市場などの「コンセプト」と、プレゼンテーションやブレインストーミングなどの「ツール」が盛り込まれています。こうした「コンセプト」や「ツール」を説明するためのモデルケースは、地域に適応したものでなければいけないので、開発途上国での起業家教育の現状とニーズを踏まえながら現地調査に基づいた個別のモデルケースを開発してきました。

#### **3) 小中学校用「実験的起業家教育」の教科書作成と指導マニュアルの開発**

開発途上国の政府、現地大学の教育専門家、教育委員会の協力を得ながら現地の小中学校で実証授業を行い、結果に基づいて開発された個別のモデルケースを集約し、各国共通部分と合わせ体系化された教科書を作成します。同時に教科書の効果的利用を図るため、指導者のための指導マニュアル(現地語)を開発します。また評価及びフィードバックのために現地でワークショップまたはベンチャーキッズキャンプを開催し、関係者間の意見交換を行うことで教科書の精選改訂とその使い方の検討、普及を図ります。